開　会　　令和８年１０月１５日（木）午前　９時３０分

閉　会　　令和８年１０月１５日（木）午前１０時３２分

令和８年度第２回金ケ崎町子ども・子育て会議

会議録

金ケ崎町子育て支援課

令和８年度第２回金ケ崎町子ども・子育て会議会議録

令和８年１０月１５日（木）午前９時３０分金ケ崎町役場４階大会議室において、金ケ崎町子ども・子育て会議を開催した。

１．出席委員

会　長	坂井ふき子	副会長	松本レイ子
委　員	藤原　　亘	委　員	阿部　光平
委　員	児玉　直人	委　員	渡辺　理恵
委　員	佐藤　　環	委　員	高橋　　修
委　員	千葉　　勝	委　員	小南　麻衣
委　員	堀合　愛実		

２．欠席委員

委　員	伊藤　志穂	委　員	古川　美香
委　員	有住　純也	委　員	田村　一成

３．町出席者

金ケ崎町長　高橋　文浩

【関係課】教育委員会事務局　参事兼教育次長　千田　美和
教育次長補佐　渡邉久美子
教育次長補佐　松本　浩和
中央生涯教育センター　所　　長　及川　勝博
所長補佐　亀井　　淳

【事務局】子育て支援課　課　　長　稲葉　郁子
課長補佐　及川　　靖

４．傍 聴 人　　２人（報道機関２人）

５．会　　議

〔１．開会〕

子育て支援課長　令和８年度第２回子ども・子育て会議を始めさせていただきます。本日の司会を務めます子育て支援課の稲葉です。

本日は、伊藤志穂委員、古川美香委員、有住純也委員、田村一成委員より欠席の報告をいただいております。

本会議は、金ケ崎町子ども子育て会議条例第６条第２項により委員の半数が出席しております。定足数に達しておりますので、本会議は成立しております。

〔２．挨拶〕

子育て支援課長　それでは、２.挨拶になります。会長からご挨拶いただきます。

会長　　おはようございます。この度、西小学校創立５０周年ということで、発表会等の準備を進めているところでございますが、今年度２回目の金ケ崎町子ども・子育て会議ということで、委員の皆様にはお忙しところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、本町の子どもたちの支援にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。本日は、大きく２点の案件がございます。１点目は、金ケ崎町教育振興基本計画の素案についてのご報告でございます。子どもたちを取り巻く環境は目まぐるしく変わってきております。その中で本町が目指すべき教育の理念や施策の方向性を確認し、子どもたちが健やかに学び成長できる環境づくりについて協議をいただきます。２点目は、町立幼稚園再編計画の推進についてです。本件につきましては、閉園の時期や募集の方針について、具体的な推進計画が提示されますので、委員の皆様には、子どもたちの最善の利益を第１に率直な建設的なご意見をいただきますようお願い申し上げます。本日も実りある審議となりますようご協力をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

子育て支援課長　続きまして、金ケ崎町長高橋文浩より皆様にご挨拶を申し上

げます。

町長　　おはようございます。只今、会長からもお話があったように本日は議題が多いところでございます。委員の皆様には、慎重な忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。まずもって、令和８年度半年が過ぎました。今日の報告事項の教育振興基本計画については、令和８年度から計画を策定しているというイレギュラーな状態になっております。この計画の実施においては、実質的に４年間で目標達成をしなければいけないというタイトな部分もありますが、これは致し方ない部分もあります。ここで委員の皆様方にお願いしたいのは、現在、上位計画であります金ケ崎町総合計画も策定をしてございます。この計画は、金ケ崎町の上位計画で最も基本となる計画です。そして、教育分野においては、この教育振興基本計画になりますが、例えば、町長が変わったとか、課長が変わった、教育長が変わったというよりは、きちっと金ケ崎町の将来はぶれないでこれでいくのだということで、今回の総合計画と教育振興基本計画を策定していると私自身は思っています。それを委員の皆様方から、今度は補足をいただきながら、ご発言をお願いしたいと思っております。また、２点目の幼稚園再編計画につきましては、本日、協議議題となってございますが、教育委員会として方針を決め、現在、町民の皆様方にもご説明をしている段階でございます。最終的に多くの方のご意見を頂戴しながら、始動することになりますが、先ほどの会長からのお話にもありました。一番は、子どのたちのためにどのような教育環境を私たちはしっかりと提供するか、町サイドもしっかりと教育委員会と一緒になって進めていきたいと考えているところでございます。色々と未だ進まない部分がありますが、おかげさまで１０月から、保育園の完全無償化についてはスタートいたしました。これが子育て支援に繋がれば良いかなと思っております。金ケ崎町はおかげさまで、子育てに関しては、他のまちよりは手厚い支援をしている状況になってきたかなと思っております。ただ、環境が変化する中では、まだまだ不足し

ている部分もあると思いますので、委員の皆様方の忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。限られた時間にはなりますが、よろしくお願い申し上げまして、挨拶と代えさせていただきます。

子育て支援課長　町長は公務のため、ここで退席をさせていただきます。

（町長退席）

子育て支援課長　この後の進行は、会長に議長をお願いします。

会長、よろしくお願いいたします。

〔３．報告〕

会長　本日の会議は、報告が１件、協議が１件あります。

それでは、報告に入ります。

「（１）金ケ崎町教育振興基本計画（令和８年度～令和１２年度）【素案】について」

説明をお願いします。

中央生涯教育センター　（（１）児童遊園の廃止について説明）

会長　只今の件について、意見・質問等はありますか。

委員　基本施策の（１）「生きる力」を育む学校教育のところで、どれも大事なことだと思います。その中で③確かな学力の育成とあります。先般、全国学力学習状況調査の結果が公表されましたが、岩手県の状況として、国語はまあまあ良かったのですが、小学校の算数、中学校の数学が若干全国平均を下回っており、ここ数年来、この傾向が続いているようです。個別の地域や学校毎はわかりませんが、岩手県自体の今後の取組が取り上げられておりました。町として、この部分での対応を考えているのか、お聞きしたいと思います。

会長　それでは、全国学調の結果を踏まえた対応について説明願います。

教育委員会事務局

全国学調の結果につきましては、公表はしておりませんが、学校毎の結果を捉えているところでございます。目的そのものが、生徒の学力で順位をつけるというよりも、学校においての授業の改善や、どこが苦手で先生方が力をどこに入れるかということのためのテストということになっているところです。本計画にもありますが、まずは学校に来る、或いは学校の授業を聞くために体力をしっかりつけた状態で学校に行くということが、実は重要じゃないかなと思っております。特に最近では、スマホとかインターネットを見て就寝時間が遅いとか、朝ご飯を食べてこないなどの状況がありますが、そうすると、先生の指導力以前の問題として、１日を通して学校の生活をこなす体力がないというところが課題としてあるのかなと見えてきているところです。まずは、体力をしっかりとつけるということを学校だけではなく、家庭や地域と連携して取り組んでいくことが重要だと思っております。そういった中で、集中することで学力がつくという相乗効果で全体的に見ていく必要があるのかなと課題として捉えておりまして、今回の５年間の計画の中でもそういった支援を確実に成果につなげることができるといいのかなと考えているところでございます。

委員　　基本施策の（１）「生きる力」を育む学校教育の施策の柱に④特別支援教育の充実がありますが、これは、小学校以降の話なのでしょうか。それとも、幼稚園、保育園も含めた全体の話でしょうか。

教育委員会事務局

こちらに書いてある特別支援教育は、基本的には小学校、中学校になります。いわゆる特別支援教室の部分になります。

委員　　六原幼稚園の閉園の説明会が開かれましたが、その中で、小学校には特別支援学級があるのに、幼稚園、保育園にないのは何故だろうということを言わせていただきました。後々調べてみたら、小学校、中学校は勉学のための特別支援教育ということで、勉強を重点に考えているようなので、小学校から教育の充実を図っているということでした。ただ、六原幼稚園の前園長がおっしゃっていたの

ですが、「小学校の教育、勉学に励む、その基礎となるのが幼児教育になる」ということをいつも熱く語っておられました。勉学の面は、幼稚園、保育園でやることではないと思いますが、言葉や行動面など、その後の小学校での勉学向上に繋がると思いますので、できれば、幼稚園や保育園においても、特別支援教育の充実を図っていただければと思います。

教育委員会事務局

確かに幼稚園というのは、小学校に上がる前に基礎的な力をつけるための場であると考えているところでございます。六原幼稚園の前園長がおっしゃっていたことはそのとおりだと思います。確かに小中学校の特別支援学級では、成長のために先生から少人数の子どもに対して、寄り添いながら勉強を教えるということになりますが、幼稚園では、先生から色々教えていただいているというところではございますが、それ以上に園児同士が交流することで、相手の気持ちを考えることや理解することを覚えたり、先生からから言われて行動するというよりは、子どもたちの触れ合いの中で覚えるところが大きいのかなと思っているところでございます。あえて、特別支援学級ということで、切り離して先生が教えるというよりは、子ども同士が園での生活の中で、色々と交流し学んでいった方が良いのかなと思うところでありますが、お子さんひとり一人に沿った勉強をさせるということで、そのような状況のお子さんに対しては支援する必要があると考えております。

委員　　これから、少子化でどんどん子どもが少なくなっていきます。少なくなっていくからこそ、子どもひとり一人を大切にするような教育環境の充実を図っていただきたいと思います。

委員　　この資料から見ると、人口減を前提とした計画になっているのかと思います。計画書【素案】の２７頁に（２）芸術文化の振興と地域資源の継承の部分ですが、この計画では、町の計画なので町民主体の取組ということで考えているのかと思いますが、郷土芸能の団体で奥州市江刺の団体では、地域だけでは、とてもじゃないけ

どまかないきれないということで、市外の方に入ってもらい活動しているところがあります。金ケ崎町でも、どうしても町外の力を借りないと維持ですとか、目標達成ができない部分があるとは思いますが、そういった部分に関して、どのように考えていますでしょうか。

中央生涯教育センター

郷土芸能については、少子高齢化で担い手が不足している団体が多々ありまして、実際１５団体ございます。現在、地域外、或いは町外、県内からも広く取り込みたいという団体がございますので、色々アイデアを出しながら支援をしたいと思っております。ただ、基本的に一番大事にしていることは、郷土芸能は地域に根差したものでございますので、その辺の理解を育みながら取り組んでいくということが大事だと思っております。あとは、今活動されている団体の思いが大事だと思っております。その地域住民の方が地域で守っていくっていう考えが強いところについては、そういった支援をしますし、地域外からの多くの人に入ってもらいたいという方たちには、そういった支援をしていくという、団体の考えに寄り添った支援をすることが必要だと思っております。まず、活動中の団体の考えを確認した上で、それに寄り添う形で支援をしていきたいと考えております。

委員　　先ほど奥州市江刺の団体と言いましたが、江刺の鹿踊りです。色々な団体がある中で、子どもたちの育成や大人の参加者を江刺の地域だけではなく、北上市や市外、県外からの参加者を募り、文化の継承をなされている状態があります。人々も生活の行き来が市町村の枠を越えて、その人が行きたいままにというところがあるという現状なので、もちろん、今やっている方々の思いを考えながら、充実が図られればいいのかなと思っております。

会長　　よろしいでしょうか。

そのほか、意見・質問等はございませんか。

それでは、以上で報告を終わります。

〔４．協議〕

会長　　次に協議に入ります。

「（１）金ケ崎町立幼稚園再編計画の推進について」

説明をお願いします。

教育委員会事務局

（（１）金ケ崎町立幼稚園再編計画の推進について説明）

会長　　只今の件について、意見・質問等はありませんでしょうか。

委員　　今年 PTA 会長になりまして、まさか、このような出来事があるとは思ってもみませんでした。かなり右往左往しながら、説明会など色々頑張ってきまして、それでようやく令和９年度末に閉園するということの見直しを町議会で請願書を採択してもらい、令和１０年度末に閉園するという形に落ち着きました。しかしながら、やはり残念なので、寂しいねという声がちらほら聞こえてきます。令和１０年度末の以降、六原幼稚園の園舎はどのようなスケジュールで、どのような形で活用されるのか、教えていただきたいと思います。

会長　　では、説明をお願いします。

教育委員会事務局

六原幼稚園の園舎の活用につきましては、現状としましては、白紙の状態でございます。三ケ尻幼稚園が廃止になった後も、実際には教育財産から行政財産になり、町全体でどのように活用をしていくか検討されました。教育委員会単独で決めるということではなく、町全体でどのように活用していくのか検討するということは、六原幼稚園につきましても、町全体で検討することになりますが、教育委員会としては、もちろん子どもに関する使い方をして欲しいということで、提起していきたいと思います。

委員　　今、教育委員会事務局からお話があったとおり、子どものための施設でありましたので、活用される場合も、子どもが元気に遊べるような施設であって欲しいと思います。

委員　　資料２頁目の（１）令和８年度の町全体の子どもの数と北部地区、六原幼稚園の園児数の見通しについて、０歳児と１歳児が７０人を切っているということで、このままいくと幼稚園の話から今度は、小学校の整理の話に入ってくるのかなと思いますが、先ほど藤原委員がおっしゃったように、突然、閉園の話が出てきて、右往左往して大変だったというような状況に、その時の親御さんたちや子どもたちが影響を受けると思います。この先の小学校の再編の見通しがあれば、参考で結構ですのでお話いただきと思います。

教育委員会事務局

　小学校の再編にいては、今のところ小学校をどうするかといった具体的な案は決まっていないところでございますが、今後は色々なことの検討が必要だと思います。現在、パブリックコメントを実施している町の総合計画や教育振興基本計画等でも今後どうしていくかというは触れているところでございますが、やはり、町だけで決めていくのではなく、地元の方や保護者の方などのご意見を参考にしながら考えていくものと認識しております。

委員　　学校や幼稚園として使われなくなった施設を屋外スポーツの室内練習場所として活用させていただきたいと思いまして、私の息子と娘が野球をやっているのですが、冬の練習場所として、生涯教育センターや小学校体育館を借用するときに、ボールを使ってはいけないということを言われるので、冬の時期にボールを使って練習できる場所の確保が難しい状況にあります。今後、施設の活用を考える際には、屋外スポーツの室内練習場所として使える環境を整備していくことも検討していただきたいと思います。要望としてお話しいたしました。

教育委員会事務局

　貴重なご意見として頂戴いたします。

会長　　そのほか、質問・意見等ございませんでしょうか。

　よろしいでしょうか。

（はいの声）

会長　　それでは、「金ケ崎町立幼稚園再編計画の推進について」を承認することとしてよろしいでしょうか。反対意見のある方は挙手して意見をお願いします。

（挙手なし）

会長　　それでは、異議がないことを認め、「金ケ崎町立幼稚園再編計画の推進について」は、承認することといたします。

会長　　以上で協議を終わります。

それでは、議長の任を終了します。

〔５．その他〕

子育て支援課長　会長、ありがとうございました。

それでは、次第の５．その他に入ります。

はじめに「（１）保育料無償化について」の説明を教育委員会事務局からお願いします。

教育委員会事務局

（（１）保育料無償化について説明）

子育て支援課長　只今の件について、ご意見・ご質問等ございませんでしょうか。

委員　　０歳児から入所を希望される方が増えると思いますが、０歳児だと子ども１人に対しての先生の人数が１人必要になってくるとか、０歳児から預けると親が子どもと一緒にいる時間が少なくなるとか、０歳児の第一子から預けてしまうと、ずっと働き続けるしかないのかなと思ったところです。無料のうちに働こうと思うと小学校入学前の５歳までになると思いますが、小学校入学で仕事をやめるということにはならないと思いますので、少子化にもあまりよくないのかなと考えるところです。

教育委員会事務局

貴重なご意見ありがとうございます。実際には、保育料無償化の対象になっている方でお子さんを預けるという方はあまりいないと思います。やはり、必要に迫られて仕事をしたいといった保護者の方が預けるときに保育料が無償化になるというところですので、

ご心配の部分については、大丈夫かなと思います。

子育て支援課長　ほかにございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、次に（２）その他に入りますが、委員の皆様方から何かございませんでしょうか。

委員　今年の１０月からカスタマーハラスメント対策の義務化の法律が施行されましたが、教育委員会として、カスタマーハラスメント対策の指針を策定されたのか。また、具体的な対策を取っているのか。取っているのであれば、保護者等に周知等が行われたのかお聞きします。

教育委員会事務局

国から幼稚園、学校等を含め、全ての事業所に対して、指針が出ているところでございまして、先日、文部科学省の方から学校関係の部分ということで、大枠としての通知が来たところでございます。今後、岩手県教育委員会の方針も含めて検討したうえで、町として指針を策定することが妥当なのか、保護者への通知をどうするかも含めて、今後の検討になると思います。

委員　社会福祉協議会でも１０月から指針を施行しておりまして、各利用者全部にチラシを送付し、電話も品質向上のために録音しますというメッセージを行ったりしておりまして、教育委員会でも取組を始めているのかと思いましてお聞きしたところでした。また、その時期になりましたら、お聞きしたいと思いますので、よろしくお願いします。

会長　先ほどの協議のところで、委員の方から小学校の適正規模、再編計画に関わる部分のお話が出ておりまして、教育委員会事務局からは、現時点で計画はないということでしたが、やはり、小学校の設置の見直しをしていく中で、地域住民や保護者の方などの合意形成を丁寧に図っていかないとうまくいかないという部分があるかと思います。実際に私は気仙地域在住なので、隣の大船渡市でも中学校を統合するというところで、１年間計画が進まないといっ

たケースもございましたので、小学校の適正規模がどのようなものなのか、町としてのしっかりとした基準をお示ししていただいて、具体的にこうなったら再編を進めていきますといった計画を作って住民の皆様にあらかじめ示しておいて、それから、そのような時期になりましたということでの話し合いを進めていかれるといいのではないかと思いますので、私も教育関係者ではございますが、早めに計画策定をお願いしたいと思っているところです。今後の見通しは、先生方も保護者の方もすごく心配なされているのではないかと思っておりますので、強くお願いしたいと思います。

委員　　参考資料の年齢別人口統計で０歳と１歳が６０人台と少ない状況です。今年の幼稚園、保育園の入園の受付が１１月で間もなく始まりますが、受付して園毎の人数を保護者にお知らせはしないと思いますので、いざ入園したら園児が少ないといったことが起こりうると思います。そうなると保護者からの不満が出てくるという心配があります。この参考資料を見ての感想でした。

子育て支援課長　ほかにございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、（２）その他を終わります。

〔６．閉会〕

子育て支援課長　それでは、本日は貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。以上で本日の会議を終了させていただきます。ありがとうございました。お疲れ様でした。